

2月 (定例)・臨時 教育委員会会議録

日 時	平成31年 2月12日 (火) 午前10時から
場 所	山梨市役所 3階 応接室
出席委員名	市川今朝則、三森智文・幡野勝彦・佐野千春・林正文
出 席 事務局員名	加々美修、望月好也、宮澤健一、古屋雅章
委員会書記	山崎公誌

議題及び議事の概要

○議事

(1) 教育委員会の自己点検について

事務局) 資料に基づき、内容を説明。法律上、教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検および確認を行い、議会へ報告するとともに、公表しなければならないが、今まで行われておらず、この時期に自己点検のみ実施している。近隣他市の状況を確認したところ、6月または9月議会において前年度の事務内容について報告が行われている。報告書のひな形はできているので、当市においても、今後報告および公表について、内容を精査し検討していきたい。

教育長) 法律に基づいて行わなければならないことであるので、来年度には実施する必要がある。報告については、来年度になるが自己点検については、教育委員の異動があるかもしれないことから、現在の体制において行うべきである。

事務局) では、ここで自己評価をお願いしたい。

委員) 自己点検・評価項目のうち、会議の運営改善や事務局との連携など、ほとんどの項目については、十分評価できる結果であると思う。ただし、生涯学習関係の行事への参加が若干少ないところがあった。

事務局) 本日の結果について、報告書に記載する。

(2) 卒業式・入学式への出席について

事務局) 資料に基づき、内容を説明。

委員) 各学校の出席者について協議し、決定。

事務局) 委員が出席できないところは、教育委員会職員で分担する。

(3) 平成31年度 各学校の学級編成について

教育長) 資料に基づき、内容について説明。今後若干の変動はあるが、現時点で来年度は小学校が1,645人、中学校が871人の計2,516人となる見込みである。平成30年度と比較して、小学校が51人の減、中学校が49人の減、計100人の減となっている。因

みに平成 28 年度と 31 年度を比べると、合計で 240 人の減となっている。これは、山梨小や後屋敷小規模の学校が一つ減ったのと同程度の減である。一方、来年度の特別支援の児童生徒は小学校が 64 人、中学校が 36 人の計 100 人となる見込みであるが、平成 28 年度は小中あわせて 69 人であり、31 人の増となっている。特別支援に在籍する児童・生徒の割合が高まっており、特別支援に対する手当が本市の大きな課題となっている。

委員) 岩手小学校の複式学級については、市単職員で対応するのか。  
教育長) その通りである。

委員) 特別支援が必要な子どもの増加に加えて、不登校の子どもも増加しているのか？

教育長) 年度末の調査結果はまだ出ていないが、最終的には増える可能性がある。

#### (4) その他

学校教育課長) 先日、別の会議の折にご報告した山梨北中学校の給食費の過徴収については、先週 P T A 役員に対して学校教育課および学校より説明を行い、理解を得た。該当者には、過徴収金額の 620 円を今月 28 日に振り込む予定である。また、学校事故に関する第三者委員会の調査について、委員会委員の氏名の開示請求があり、開示審査会において、「開示すべき」との答えが出たので、請求者に対し開示を行った。一方、第三者委員会の調査自体は概ね終了し、報告書の提出を待つところである。

教育長) 報告書の内容についての保護者説明は、教育委員会としての説明が必要となるので、教育委員同席のもとに説明を行いたい。また、報告書の提出を受けてから、できるだけ速やか保護者に説明を行いたいので、日程の設定をしてほしい。

次回 3月27日(水) 午前10時から

#### 議決事項

教育委員会の自己点検・評価を実施し確定。

平成 30 年度卒業式・卒園式、平成 31 年度入学式・入園式について教育長・教育委員の出席箇所を決定。

#### その他、会議において必要と認めた事項

教育委員に、平成 30 年度山梨市英語学習児童意識調査結果を配布。